

議員の聞く×つなぐ町の声

「下里さくら祭り」実行委員会編

春と言えば桜。桜と言えば、お花見。日本人にとって伝統文化の一つである桜のお花見。この一大イベントを縁の下で支える人たちがいます。第8回の「聞く×つなぐ」は「下里さくら祭り」実行委員会の皆さんとの登場です。

議会だよりも読んだことがありますか？

いいえ 3人 はい 6人

仙元山の公園に「やまざくら」を植えることに

どちらでもない 4人 期待する 5人

さくら祭りの楽しさは

- ・地元のみんなで、存分に楽しむ。
- ・町外から来た方に楽しんでもらいたい。
- ・来てくれた人、みんなで楽しむ。
- ・「のんのんびより」ファンも忘れずにね。

「下里さくら祭り」実行委員の皆さん

分校カフェ・モザートの桜

この際、言わせて！

(原文のまま掲載しています)

- ☆旧分校の桜の木も、老木なので若木を植樹したら。
- ☆旧分校の教室もたくさんの人たちに利用できたらいいね。
- ☆誰にでも愛される分校、みんなの「心のふるさと」にな~れ。
- ☆もっと近くに駐車場がないとイベント参加者が大変だね。
- ☆旧し尿処理場の跡地はイベント駐車場に借りられないかな。
- ☆河川敷にもイベントのときだけ車を置かせてもらえた。

gikai information

傍聴からはじめよう!!

どなたでも傍聴できます（事前連絡は不要です）役場3階にお越しください

次回定例会は
6月6日(木)～開会は10時です

傍聴席の定員は40人

No.91 小川町議会だより 平成31年3月定例会春号（令和元年5月1日発行）

発行責任者：小川町議会議長 松本修三
編集：議会広報発行特別委員会
委員長 笠原規弘 副委員長 田中照子
委員 戸口 勝・井口亮一・高橋さゆり・島崎隆夫
編集後記
「平成」の御代が天皇の御退位によって結び、新しい時代「令和」が始まる。生前退位で御代替わりを生きるすべての世代が喜ぶ。一方、この機を逃すまいと経済活動は躍起になっている。この時代に生まれ、この日本にいるから感じることのできる皇位継承の儀式。こんなときだからこそ、「平成」に感謝をするとともに国柄を改めて振り返り、「令和」の始まりにわが国の新しい可能性や希望を、連休を使って想いを馳せてみようと思う。（戸口 勝）

Editors Note

